

◆ 高温潤滑用

■ G-40M EA920AF-22

G-40シリーズは、特に高温領域での潤滑性に優れており、密封型ベアリングの潤滑に最適です。

ちょう度(グリースの硬さ)は、L、M、Hの3種類です。



ベアリングの潤滑

■ 一般特性

項目		G-40M
外 観		ベージュ色グリース状
比 重	25℃	1.05
JIS K2220 試験方法	ちょう度 25℃/混和	240~280
	滴 点 ℃	200以上
	離 油 度 150℃×100h %	5.9
	酸化安定度 150℃×50h*3 kPa	10
	耐 水 性 %	1
	混和安定度 10万回	360(最高)
	低温トルク値 (起動/ランニング) -20℃ mN・m	83/46
MIL-L15719A	低温トルク値 -20℃ 2000g-cm	5秒以下
BTB	遊離酸または遊離アルカリ	中性
使用温度範囲	℃	-30~+200
揮 発 分	150℃×100h %	0.3
低分子シリコン含有率	ΣD ₃ ~D ₁₀ ppm	100以下

*1 安全性については、P22「安全・衛生について」をご参照下さい。

(規格値ではありません)

*2 200℃×24h

*3 JIS K2220での酸化安定度試験条件は99℃×100hですが、150℃×50hで測定

*G-40のスピードファクター(ベアリング内径mm×回転数r.p.m)は最高200,000まで使用できます。

◆ 安全性データ

シリコーングリース・ オイルコンパウンドの毒性試験結果

項目 品名	皮膚刺激性(人)*1	LD50:経口投与(ラット) (単位:g/kg)
HIVAC-G	陰性	5以上
KS-64	準陰性	5以上
G-30M	準陰性	5以上
G-40M	準陰性	5以上

*1日本産薬皮膚衛生協会測定

左記のように、一般のシリコーングリース・オイルコンパウンドは、極めて安全性の高いものです（経口毒性の基準については、下記をご参照下さい）。ただし特殊なグレードもありますので、左記以外の製品については当社にお問い合わせください。

経口毒性基準表

●急性毒性試験

一般に、ある大量の物質を試験動物に与えた場合にあらわれる致死量を求める。
通常LD₅₀(50%Lethal Dose:50%致死量)で表現します。毒性の程度は下の表をご参照ください。

●毒性の強さの分類

毒性の程度	LD50:経口投与(ラット)(単位:g/kg)
極めて強	<0.001
強	0.001~0.05
中程度	0.05~0.5
弱	0.5~5
極めて弱	5~15
ほとんど無毒	15<

出典：Hodge, H.G. and Sterner, J.H. : American Industrial Hygiene Association Quarterly, 10 : 4, 93, 1943

◆ 取り扱い・安全・衛生に関する注意事項

取り扱い・保管について

1. 保管は、直射日光を避けて、冷暗所で行ってください。
2. 長期保管後はオイルが分離していることがあります。ヘラなどで十分に攪拌してからご使用ください。
3. 開封後は、原則使い切りですが、残った場合は完全に密封してください。
4. 施行箇所は事前に、水分、油分、汚れなどを十分に除去してください。
5. 他のオイル・グリースとは混合しないでください。

安全・衛生について

1. 作業の際は、ゴム手袋、安全眼鏡などの保護具を着用ください。
2. 皮膚に付着した場合、ウエスなどで拭き取ってから、直ちに石けんを用いて流水で十分に洗い流してください。
万一、目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。また、コンタクトレンズ着用者は、誤って目に入れた場合、目に固着することがありますので、特にご注意ください。
3. 取り扱いの際、特に加熱時には換気を十分に行い、蒸気の吸入を避けてください。蒸気の吸入の恐れがあり、換気の悪い場所では使用は避けてください。もし、蒸気を吸入して気分が悪くなったときは、直ちに新鮮な空気の場所に移動してください。
4. 子供の手の届かないところに保管してください。
5. 床などに付着した場合はすべりやすくなりますから、ウエスなどで拭いた後、砂などをまき、完全に拭き取ってください。
6. フロロシリコーングリースFG-720シリーズおよびG-420は、通常のご使用に際しては実質的に無害です。しかし、150℃以上の高温に熱せられると微量ですが毒性のあるガスを発生しますので、高温条件下でのご使用の際は、換気にご注意ください。
7. フロロシリコーングリースFG-720シリーズは輸出貿易管理令、別表第一の5-(10)項に該当しますので、輸出する場合は認可が必要となります。詳細については当社までお問い合わせください。
8. グリース・オイルコンパウンドは、消防法の危険物に該当します。規定に準じた保管・取り扱いが必要です。
9. ご使用前に製品安全データシート(MSDS)をお読み下さい。MSDSは、担当営業部署までご依頼ください。